

お問い合わせコードと対処方法

お問い合わせコードは末尾の数字別に分類されています。

(例: お問い合わせコード「293」→末尾の数字「3」)

末尾の数字をもとに、対応するページをご覧ください。

対応するページ内では、お問い合わせコードは昇順に収録されています。

なお、末尾の数字は、下表右覧に示すように、お問い合わせコードが表示される場所を表します。

お問い合わせコードの末尾の数字	ページ	表示される場所
「***1」	2~6 (背景が「青」)	対象機器 (クライアントプログラム)
「***2」	7~8 (背景が「青」)	
「***3」	9~22 (背景が「オレンジ」)	手元端末 (ビューアプログラム)
「***5」	23~24 (背景が「緑」)	手元端末 (WOL機能)

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
291	認証エラーで接続できませんでした。 ユーザ名、パスワード、端末認証情報を確認してください。 問題が解決しない場合は、アカウント管理者にお問い合わせください。	マジックコネクットのユーザ名が間違っている。	正しいマジックコネクットのユーザ名を設定する。
		マジックコネクットのパスワードが間違っている。	正しいマジックコネクットのパスワードを設定する。
		アカウント管理者により、端末を制限する機能(MACアドレス制限、IPアドレス制限)が設定されている場合に、許可されていないMACアドレスの端末を利用している / 許可されていないIPアドレスのネットワークから接続している。	<ul style="list-style-type: none"> ・許可された端末を利用する。 ・許可されたネットワークから接続する。 ・アカウント管理者がMACアドレス制限、IPアドレス制限を変更する。
		アカウント管理者は、お問い合わせコード291（認証エラー）の具体的な理由を管理機能で確認できます。これにより問題をスムーズに解決することができます。 詳しくは、お客様サポート(https://www.magicconnect.net/support/) → 「マニュアル」 → 「手順書」項目 → 「接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法」をご覧ください。	
301	サーバおよび認証設定が完了していません。 設定画面を開き、サーバのホスト名、ポート番号、ユーザ名、パスワードの設定をしてください。	クライアントプログラムに必要な情報を設定していない状態で、サーバへ接続しようとしている。	クライアントプログラムの設定を完了する。
311	このアカウントは他のユーザによって利用されています。	既に他の端末から、該当マジックコネクットのユーザでマジックコネクットサーバへ接続している。	管理画面のアクセス履歴から、該当ユーザのMACアドレスを確認し、現在接続中の機器を特定する。特定した機器からクライアントプログラムをアンインストールする。
		直前に通信異常で終了した接続情報がマジックコネクットサーバに残っている。	マジックコネクットサーバ内の接続情報がタイムアウトで消えるまで、最大で1分間待機する。
		エラーの発生している端末で、既にマジックコネクットサーバへ接続をしているにも関わらず、更に接続をしようとしている。	古いクライアントプログラムを利用している場合は手動での多重接続を試みる事が可能なので、最新のクライアントプログラムへアップデートする。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
<p>431</p>	<p>SSLセキュリティ証明書に問題があるため、通信を切断します。 サーバの管理者に連絡してください。</p> <p>[※1 SSL接続で問題が発生した箇所のメッセージ]</p>	<p>端末のウイルス対策ソフト、通信を監視するソフト、ネットワーク経路上にある機器でマジックコネクットのSSL証明書が差し替えられた。(一部ウイルス対策ソフトや通信を監視するソフトが動作している等)</p>	<p>ウイルス対策ソフト (ESET Smart Security、カスペルスキー等)、通信を監視するソフト(i-Filter、Intersafe等)、ネットワーク経路上の機器(UTM等)で、マジックコネクットサーバとのSSL通信の監視機能を無効にするか、監視対象から除外する。</p>
		<p>マジックコネクットのサーバ名が間違っている。</p>	<p>正しいマジックコネクットのサーバ名を入力する。</p>
		<p>端末の時計が大幅にずれている。</p>	<p>端末の時計を修正する。</p>
		<p>ホテル、空港ラウンジ、公衆無線LANサービス等、ブラウザ経由で認証をしてからインターネットが利用可能なネットワークで、認証が完了する前にマジックコネクットを利用した。</p>	<p>ブラウザで認証を完了し、インターネットが利用できるようになってからマジックコネクットを利用する。</p>
		<p>マジックコネクットサーバのIPアドレスを入力している。</p>	<p>クライアントプログラムにマジックコネクットサーバのFQDNを設定する。</p>
<p>1121</p>	<p>受信に失敗しました。</p> <p>理由：[※1 失敗した理由のメッセージ]</p>	<p>エラーの発生した端末で使用しているネットワークが不安定であるか、またはネットワークの通信経路上にあるネットワーク機器に切断された。</p>	<p>繰り返し発生するのでなければネットワーク経路上での突発的な切断の可能性が高いため、対処は不要。</p> <p>[繰り返し発生する場合] エラーの発生している端末を再起動する。 可能であるならば、エラーの発生している端末のネットワークを変更する。</p>
<p>1181</p>	<p>サーバに接続できませんでした。</p> <p>理由：[※1 失敗した理由のメッセージ]</p>	<p>マジックコネクットのサーバ名、ポート番号を誤っている。</p>	<p>正しいマジックコネクットのサーバ名、ポート番号を設定する。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・設定したProxy情報が間違っている。 ・あるいは利用中のネットワーク環境では設定したProxyが利用できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マジックコネクットに設定しているProxy情報が正しいことを確認する。 ・Proxyを利用しない環境の場合、マジックコネクットの設定「HTTP Proxy - 利用する」をOFFにする。
<p>1191</p>	<p>送信に失敗しました。</p> <p>理由：[※1 失敗した理由のメッセージ]</p>	<p>エラーの発生した端末で使用しているネットワークが不安定であるか、またはネットワークの通信経路上にあるネットワーク機器に切断された。</p>	<p>繰り返し発生するのでなければネットワーク経路上での突発的な切断の可能性が高いため、対処は不要。</p> <p>[繰り返し発生する場合] エラーの発生している端末を再起動する。 可能であるならば、エラーの発生している端末のネットワークを変更する。</p>

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
1261	接続処理がタイムアウトしました。	エラーの発生した端末で使用しているネットワークが不安定である可能性	<p>繰り返し発生するのでなければネットワーク経路上での突発的な切断の可能性が高いため、対処は不要。</p> <p>[繰り返し発生する場合] エラーの発生している端末を再起動する。 可能であるならば、エラーの発生している端末のネットワークを変更する。</p>
1411	サーバ[[※1マジックコネクットのサーバ] : [※2マジックコネクットのポート番号]] に接続できませんでした。 設定ウィンドウの HTTP Proxy 及び、サーバの接続先が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。	ファイアウォールなどでマジックコネクトサーバの443ポートへのアクセスがブロックされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザを起動し、インターネットが利用できることを確認する。 ・マジックコネクットのWebサイトから管理画面にアクセスして、ユーザ認証画面が表示されることを確認する。
		マジックコネクトに設定しているサーバ名、ポート番号が間違っている。	正しいサーバ名、ポート番号を設定する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・設定したProxy情報が間違っている。 ・あるいは利用中のネットワーク環境では設定したProxyが利用できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいProxyのサーバ名、ポート番号、ドメインを設定する。 ・Proxyを利用しない環境の場合、マジックコネクトの設定「HTTP Proxy - 利用する」をOFFにする。
1421	HTTP Proxy[[※1 Proxyのサーバ] : [※2 Proxyのポート番号]] に接続できませんでした。 設定ウィンドウから HTTP Proxy の設定が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。	設定したProxy情報が間違っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいProxyのサーバ名、ポート番号、ドメインを設定する。 ・Proxyを利用しない環境の場合、マジックコネクトの設定「HTTP Proxy - 利用する」をOFFにする。
		設定したProxyサーバが動いていない。	利用中のネットワークからProxyにアクセスできることを確認する。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
1431	接続がタイムアウトしました。 設定ウィンドウの HTTP Proxy 及び、サーバの接続先が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。	ファイアウォールなどでマジックコネクトサーバの443ポートへのアクセスがブロックされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザを起動し、インターネットが利用できることを確認する。 ・マジックコネクトのWebサイトから管理画面にアクセスして、ユーザ認証画面が表示されることを確認する。
		設定したマジックコネクトのサーバ名、ポート番号が間違っている。	正しいマジックコネクトのサーバ名、ポート番号を設定する。
		設定したProxyのサーバ名、ポート番号が間違っている、利用中のネットワーク環境では設定したProxyが利用できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいProxy情報を設定する。 ・Proxyを利用しない環境の場合、マジックコネクトの設定「HTTP Proxy - 利用する」をOFFにする。
1441	サーバ[[※1 マジックコネクトのサーバ]]が見つかりませんでした。 サーバのホスト名が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。	インターネットに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザを起動し、インターネットが利用できることを確認する。 ・マジックコネクトのWebサイトから管理画面にアクセスして、ユーザ認証画面が表示されることを確認する。
		設定したマジックコネクトのサーバ名が間違っている。	正しいマジックコネクトのサーバ名を設定する。
		Proxyを経由する必要があるネットワーク環境にも関わらず、Proxyを利用する設定となっていない。	Proxyを経由する必要がある場合は、Proxy情報を設定する。
1451	HTTP Proxy[[※1 Proxyのサーバ]]が見つかりませんでした。 設定ウィンドウの HTTP Proxy のホスト名が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。	インターネットに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザを起動し、インターネットが利用できることを確認する。 ・マジックコネクトのWebサイトから管理画面にアクセスして、ユーザ認証画面が表示されることを確認する。
		設定したProxyのサーバ名が間違っている。	正しいProxyホスト名を設定する。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
1461	<p>HTTP Proxy[[※1 Proxyのサーバ] : [※2 Proxyのポート番号]] の認証を通過できませんでした。</p> <p>設定ウィンドウから HTTP Proxy の認証に必要な、ユーザ名とパスワードを入力してから、接続しなおしてください。</p>	設定したProxyでユーザ認証に失敗した。	正しいProxyユーザ名、パスワード、ドメインを設定する。
1471	<p>HTTP Proxy[[※1 Proxyのサーバ] : [※2 Proxyのポート番号]] からエラー[status code : [※3 エラー理由]] が返って来ました。</p> <p>設定ウィンドウの HTTP Proxy 及び、サーバの接続先が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。</p>	<p>設定したProxyから「status code ※3」に記載されたエラー理由で、サーバに接続できない。</p> <p>設定したProxyでSSLによる接続を許可していない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正しいマジックコネクットのサーバ名、ポート番号を設定する。 正しいProxyのサーバ名、ポート番号、ドメインを設定する。 <p>エラーの出ている端末からの接続や、SSLによる接続を、Proxyで拒否していないかネットワーク管理者に確認する。</p>

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
12	MagicConnect Client Serviceが停止しています。 サービスを開始するかコンピュータを再起動してください。	クライアントプログラムがサービス起動していない。	OSの管理機能にあるサービス設定で、クライアントプログラムを「自動起動」に設定し、端末を再起動する。
22	MagicConnect Clientの設定を取得できませんでした。	クライアントプログラムで問題が発生している。	クライアントプログラムを再インストールする。
32	MagicConnect Client Serviceに設定を反映できませんでした。 MagicConnect Client Serviceが起動しているか確認してください。	クライアントプログラムで問題が発生している。	クライアントプログラムを再インストールする。
42	設定ファイルの保存に失敗しました 変更は一時的なものになります	クライアントプログラムの設定ファイルに対して書き込み権限がない。	クライアントプログラムと同じ場所にある設定ファイル(mccln.cfg)に対して、適切なアクセス権限を設定する。
52	ポートは 0 ~ 65535 の範囲で入力して下さい。	サーバのポート番号で 0 ~ 65535 以外の数字を入力している。	正しい範囲のサーバポート番号を設定する。
		Proxyのポート番号で 0 ~ 65535 以外の数字を入力している。	正しい範囲のProxyポート番号を設定する。
62	この操作を行う権限はありません。	クライアントプログラムを操作する権限が無いWindowsユーザーが、クライアントプログラムの接続/切断を実行しようとした。	クライアントプログラムと同じ場所にある設定ファイル(mccln.cfg)に対して、適切なアクセス権限を設定する。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
72	接続試行を停止しました。 ユーザ名、パスワード、利用PC制限を確認してください。 問題が解決しない場合はアカウント管理者に連絡してください。 MagicConnectを解約、または、アカウントを停止した場合は、アンインストールをお願いします。	設定したマジックコネクットのユーザ名が間違っている。	正しいマジックコネクットのユーザ名を設定する。
		設定したマジックコネクットのパスワードが間違っている。	正しいマジックコネクットのパスワードを設定する。
		アカウント管理者により、端末を制限する機能(MACアドレス制限、IPアドレス制限)が設定されている場合に、許可されていないMACアドレスの端末を利用している / 許可されていないIPアドレスのネットワークから接続している。	<ul style="list-style-type: none"> ・許可された端末を利用する。許可されたネットワークから接続する。 ・アカウント管理者がMACアドレス制限、IPアドレス制限を変更する。
92	HTTP Proxyを利用する設定になっていますがホスト名が入力されていません。 HTTP Proxyを利用しない設定にするか、HTTP Proxyのホスト名を入力してください。	Proxyを利用する設定になっているが、Proxyのホスト名が入力されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・Proxyを利用しない設定にする。 ・正しいProxy情報を設定する。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
3	初期化に失敗しました。	ビューアプログラムのファイルが壊れている、あるいはマジックコネクトUSBキーが故障している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ USB型、指紋認証型、DLOの場合 別の端末にUSBキーを挿し、ビューアを実行する。 上記の結果、同事象が発生する場合は、故障の可能性がある。 Webページ(https://www.magicconnect.net/)の「お問い合わせはこちら」→「技術的なお問い合わせ」から必要事項を記入の上、サポートへ問い合わせる。 ・ 端末認証型、モバイルの場合 ビューアプログラムを再インストールする。
143	<p>連携アプリケーション[※1：連携アプリケーション名]との接続準備に失敗しました。</p> <p>操作PC側ポート番号[※2：操作PC側で使用しているポート番号]が既に別のアプリケーションの待ち受けで利用されています。</p> <p>MagicConnect Viewer側で [※1：連携アプリケーション名]サーバアプリケーションが動作している場合終了してください。</p>	<p>マジックコネクトの連携アプリケーションで利用しようとしたポートが既に使用されている。</p> <p>セキュリティソフトなどで、連携アプリケーションの起動がブロックされた。</p> <p>連携アプリケーションの起動に失敗した。</p>	<p>ポートが別のアプリケーションによって一時的に使用されている場合は、操作端末を再起動する事で問題が改善する。 再起動後も改善しない場合は、別のアプリケーションによって該当のポートが常時使用されていないか確認し、アプリケーションがある場合は終了する。</p> <p>操作端末のセキュリティソフトなどで、連携アプリケーションの起動、ポートのブロックをしている場合は、連携アプリケーションおよびマジックコネクトのプログラム、及び利用するポートのブロックをしない設定にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携アプリケーションが正常に動作することを確認する。 ・ 既に連携アプリケーションが起動する場合は、一旦終了する。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
<p>173</p>	<p>連携アプリケーション[※1：連携アプリケーション名]を起動できませんでした。</p> <p>連携アプリケーション[※1：連携アプリケーション名]を[※2：連携アプリケーションの起動コマンド]にインストールして下さい。</p>	<p>バージョン5.7以降のEX/EX+エディションにアップデートした場合で、連携アプリケーションの設定変更がされていない。</p>	<p>ビューアプログラムを起動して「設定」→「接続方法リスト」にある「RemoteDesktop」を選択し、「連携アプリケーション:」を以下の設定値に変更する。</p> <p>【連携アプリケーション設定値】 mstsc.exe tools¥normal.rdp</p>
		<p>連携アプリケーションの関連ファイルに問題がある、あるいはマジックコネクトUSBキーが故障している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・USB型、指紋認証型、DLOの場合 別の端末にUSBキーを挿し、ビューアを実行する。 上記の結果、同事象が発生する場合は、故障の可能性もある。 Webページ(https://www.magicconnect.net/)の「お問い合わせはこちら」→「技術的なお問い合わせ」から必要事項を記入の上、サポートへ問い合わせる。 ・端末認証型、モバイルの場合 ビューアプログラムを再インストールする。
		<p>EX/EX+エディションの場合は、ユーザが独自に設定した連携アプリケーション設定に誤りがある。</p>	<p>エラーが発生している連携アプリケーションの設定を見直す。</p>
<p>183</p>	<p>連携アプリケーション[※1：連携アプリケーション名]が見つかりませんでした。</p> <p>連携アプリケーション[※1：連携アプリケーション名]を[※2：連携アプリケーションのファイルパス]にインストールして下さい。</p>	<p>連携アプリケーションの関連ファイルに問題がある、あるいはマジックコネクトUSBキーが故障している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・USB型、指紋認証型、DLOの場合 別の端末にUSBキーを挿し、ビューアを実行する。 上記の結果、同事象が発生する場合は、故障の可能性もある。 Webページ(https://www.magicconnect.net/)の「お問い合わせはこちら」→「技術的なお問い合わせ」から必要事項を記入の上、サポートへ問い合わせる。 ・端末認証型、モバイルの場合 ビューアプログラムを再インストールする。
		<p>EX/EX+エディションの場合は、ユーザが独自に設定した連携アプリケーション設定に誤りがある。</p>	<p>エラーが発生している連携アプリケーションの設定を見直す。</p>

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
193	<p>連携アプリケーション[※1：連携アプリケーション名]に問題が見つかりました。</p> <p>連携アプリケーション[※1：連携アプリケーション名]を[※2：連携アプリケーションの起動コマンド]に再インストールして下さい。</p>	バージョン5.7以降のNDL/NDL+、XDL/XDL+を利用している場合に、一部の手元端末で発生する。	Webページ(https://www.magicconnect.net/support/)の「マニュアル」→「お問い合わせコード193が発生する場合の対処手順」を参照し対処をする。
		<p>連携アプリケーションの関連ファイルに問題がある、あるいはマジックコネクトUSBキーが故障している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・USB型、指紋認証型、DLOの場合 別の端末にUSBキーを挿し、ビューアを実行する。 上記の結果、同事象が発生する場合は、故障の可能性がある。 Webページ(https://www.magicconnect.net/)の「お問い合わせはこちら」→「技術的なお問い合わせ」から必要事項を記入の上、サポートへ問い合わせる。 ・端末認証型、モバイルの場合 ビューアプログラムを再インストールする。
		EX/EX+エディションの場合は、ユーザが独自に設定した連携アプリケーション設定に誤りがある。	エラーが発生している連携アプリケーションの設定を見直す。
203	<p>連携アプリケーション[※1：連携アプリケーション名]の起動に失敗しました。</p>	<p>連携アプリケーションの関連ファイルに問題がある、あるいはマジックコネクトUSBキーが故障している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・USB型、指紋認証型、DLOの場合 別の端末にUSBキーを挿し、ビューアを実行する。 上記の結果、同事象が発生する場合は、故障の可能性がある。 Webページ(https://www.magicconnect.net/)の「お問い合わせはこちら」→「技術的なお問い合わせ」から必要事項を記入の上、サポートへ問い合わせる。 ・端末認証型、モバイルの場合 ビューアプログラムを再インストールする。
		EXエディションの場合は、ユーザが独自に設定した連携アプリケーション設定に誤りがある。	エラーが発生している連携アプリケーションの設定を見直す。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
223	操作PC側ポート番号[※1：連携アプリケーションの手元端末側ポート番号]に連携アプリケーション[※2：連携アプリケーション名]からの接続がありませんでした。 設定ウィンドウより 接続方法[※2：連携アプリケーション名]の設定が正しく入力されているか確認してください。	ユーザが独自に設定した連携アプリケーション設定に誤りがある。	エラーが発生している連携アプリケーションの設定を見直す。
		連携アプリケーションからビューアプログラムへの接続がセキュリティソフト等によってブロックされている。	セキュリティソフト等によるブロックを解除する。
		EX/EX+エディションでVNCを利用している時に、VNCランチャーが起動できない、または起動が遅い。	連携方法アプリケーションの設定を変更する。 ビューアプログラムを起動し「設定」→「接続方法リスト」の「VNC」を選択し、「連携アプリケーション」の値を以下の設定値に変更する。 【変更後の連携アプリケーション設定値】 tools¥vnc¥x86¥vncviewer_x86.exe /config tools¥vnc¥x86¥mc_jp.vnc
		連携アプリケーションのファイルが壊れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・USB型、指紋認証型、DLOの場合 別の端末にUSBキーを挿し、ビューアを実行する。 上記の結果、同事象が発生する場合は、故障の可能性がある。 Webページ(https://www.magicconnect.net/)の「お問い合わせはこちら」→「技術的なお問い合わせ」から必要事項を記入の上、サポートへ問い合わせる。 ・端末認証型、モバイルの場合 ビューアプログラムを再インストールする。
233	連携アプリケーション[※1：連携アプリケーション名]との接続に失敗しました。 他に起動しているアプリケーションがある場合は、終了してください。	連携アプリケーションからビューアプログラムへの接続がセキュリティソフト等によってブロックされている。	セキュリティソフト等によるブロックを解除する。
283	認証エラーで接続できませんでした。 ユーザ名、パスワード、USBキー、端末認証情報を確認してください。 問題が解決しない場合は、アカウント管理者にお問い合わせください。	設定したマジックコネクットのユーザ名が間違っている。	正しいマジックコネクットのユーザ名を設定する。
		設定したマジックコネクットのパスワードが間違っている。	正しいマジックコネクットのパスワードを設定する。
		アカウント管理者により、端末を制限する機能(MACアドレス制限、IPアドレス制限)が設定されている場合に、許可されていないMACアドレスの端末を利用している / 許可されていないIPアドレスのネットワークから接続している。	<ul style="list-style-type: none"> ・許可された端末を利用する。許可されたネットワークから接続する。 ・アカウント管理者がMACアドレス制限、IPアドレス制限を変更する。
		USBキーに紐付いたユーザ名でない。	正しいUSBキーとユーザ名の組み合わせで利用する。
	アカウント管理者は、お問い合わせコード283（認証エラー）の具体的な理由を管理機能で確認できます。これにより問題をスムーズに解決することができます。 詳しくは、お客様サポート(https://www.magicconnect.net/support/) → 「マニュアル」 → 「手順書」項目 → 「接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法」をご覧ください。		

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
<p>293</p>	<p>認証エラーで接続できませんでした。</p> <p>ユーザ名、パスワード、端末認証情報を確認してください。問題が解決しない場合は、アカウント管理者にお問い合わせください。</p>	<p>設定したマジックコネクットのユーザ名が間違っている。</p>	<p>正しいマジックコネクットのユーザ名を設定する。</p>
		<p>設定したマジックコネクットのパスワードが間違っている。</p>	<p>正しいマジックコネクットのパスワードを設定する。</p>
		<p>アカウント管理者により、端末を制限する機能(MACアドレス制限、IPアドレス制限)が設定されている場合に、許可されていないMACアドレスの端末を利用している / 許可されていないIPアドレスのネットワークから接続している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 許可された端末を利用する。許可されたネットワークから接続する。 アカウント管理者がMACアドレス制限、IPアドレス制限を変更する。
		<p>初回接続時に利用した手元端末とは別の端末から利用しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初回接続時に認証した端末を利用する。 アカウント管理者が該当マジックコネクットユーザの端末認証情報を初期化する。
		<p>手元端末がWindowsの場合、手元端末へのログインユーザ名が、初回接続時のWindowsユーザとは別のWindowsユーザである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初回接続時に認証を行ったWindowsユーザで認証する。 アカウント管理者が該当マジックコネクットユーザの端末認証情報を初期化する。
<p>アカウント管理者は、お問い合わせコード293（認証エラー）の具体的な理由を管理機能で確認できます。これにより問題をスムーズに解決することができます。詳しくは、お客様サポート(https://www.magicconnect.net/support/) → 「マニュアル」 → 「手順書」項目 → 「接続時に認証エラーが発生した場合の対処方法」をご覧ください。</p>			
<p>313</p>	<p>このアカウントは他のユーザによって利用されています。</p>	<p>別のビューアプログラムが起動し、既に接続している。</p>	<p>先に接続しているビューアプログラムを利用する。</p>
		<p>直前に通信異常で終了した接続情報がマジックコネクットサーバに残っている。</p>	<p>マジックコネクットサーバ内の接続情報がタイムアウトで消えるまで、最大で1分間待機する。</p>
<p>383</p>	<p>安全なシンクライアント端末、または、ウイルス対策済端末ではありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ウイルス対策ソフト」がインストールされていない、リアルタイムでの監視がされていない、更新されていない。 「スパイウェアとその他のマルウェアの対策」がインストールされていない、リアルタイムでの監視がされていない、更新されていない。 	<p>以下の項目を確認し、問題を改善する。</p> <p>セキュリティセンター（アクションセンター、セキュリティとメンテナンス）の項目「ウイルス対策」と「スパイウェアとその他のマルウェアの対策」が、それぞれ「有効」であること。</p>
	<p>安全な端末をご利用ください。</p> <p>アプリケーションを終了します。</p>	<p>ビューアプログラムが古い。</p>	<p>以下手順に従い、ビューアプログラムをアップデートする。</p> <p>お客様サポート(https://www.magicconnect.net/support/) → 「アップデート」</p>
		<p>OSの起動直後で、「セキュリティ対策ソフト」の起動が完了していない。</p>	<p>セキュリティセンター（アクションセンター、セキュリティとメンテナンス）の項目「ウイルス対策」と「スパイウェアとその他のマルウェアの対策」が、それぞれ「有効」であることを確認し、ビューアを再度実行する。</p>

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
<p>433</p>	<p>SSLセキュリティ証明書に問題があるため、通信を切断します。サーバの管理者に連絡してください。</p> <p>[※1 SSL接続で問題が発生した箇所のメッセージ]</p>	<p>ネットワーク経路上にある機器でマジックコネクトサーバのSSL証明書が差し替えられた。(または、端末のウイルス対策ソフト、通信を監視するソフトがマジックコネクトサーバのSSL証明書を差し替えている。)</p>	<p>ネットワーク経路上の機器(UTM等)または、ウイルス対策ソフト (ESET Smart Security、カスペルスキー等)、通信を監視するソフト(i-Filter、Intersafe等)のマジックコネクトサーバとのSSL通信を監視対象から除外する。</p>
		<p>マジックコネクトのサーバ名が間違っている。</p>	<p>正しいマジックコネクトのサーバ名を入力する。</p>
		<p>端末の時計が大幅にずれている。</p>	<p>端末の時計を修正する。</p>
		<p>ホテル、空港ラウンジ、公衆無線LANサービス等、ブラウザ経由で認証をしてからインターネットが利用可能なネットワークで、認証が完了する前にビューアプログラムを利用した。</p>	<p>ブラウザで認証を完了し、インターネットが利用できるようになってからビューアプログラムを利用する。</p>
		<p>サーバ入力欄にマジックコネクトサーバのIPアドレスを入力している。</p>	<p>マジックコネクトサーバ情報をFQDNで入力する。</p>
<p>583</p>	<p>接続環境を適切に準備できませんでした。アプリケーションを終了します。</p>	<p>リモートデスクトップの接続準備に失敗した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 端末を再起動する。 ・ 別の端末を利用する。
<p>603</p>	<p>MagicConnect Viewer の実行に必要なファイル [※1 : DLLファイル名]に問題があるか見つかりません。アプリケーションを終了します。</p>	<p>ビューアプログラムのファイルのみをUSBキー以外の場所にコピーして実行した。</p>	<p>USBキー内に存在するビューアプログラムを実行する。</p>
		<p>ビューアプログラムが使用するファイルが壊れている/存在しない/アクセスする権限がない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ USB型、指紋認証型、DLOの場合 別の端末にUSBキーを挿し、ビューアを実行する。 上記の結果、同事象が発生する場合は、故障の可能性がある。 Webページ(https://www.magicconnect.net/)の「お問い合わせはこちら」→「技術的なお問い合わせ」から必要事項を記入の上、サポートへ問い合わせる。 ・ 端末認証型、モバイルの場合 ビューアプログラムを再インストールする。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
613	USBキーとの通信中に致命的なエラーが発生しました。	マジックコネクットのUSBキーと他のUSBデバイスとで競合が発生している。	マジックコネクットのUSBキー以外のUSBデバイスを取り外す。
		一部の機能がサポートされていない、不完全なUSB3.0ポートを使用している。	マジックコネクットのUSBキーをさすポートを変更する。
		ドックコネクタやUSBハブなどを経由してマジックコネクットUSBキーを使用している。	端末のUSBポートに直接接続して使用する。
		ディスクドライブをまるごと暗号化するソフトによって、マジックコネクットUSBキーの動作が阻害されている場合。	ディスクドライブを暗号化するソフトをアンインストールするか、別の端末を利用する。
		USBキー内のファイル、もしくはUSBキーが壊れている。	USBキーを修復するため、以下ページを参照し、該当製品のUSBキーをアップデートする。 お客様サポート(https://www.magicconnect.net/support/) → 「アップデート」 アップデートが失敗する場合は、USBキーが故障している可能性が考えられる。 Webページ(https://www.magicconnect.net/)の「お問い合わせはこちら」 → 「技術的なお問い合わせ」から必要事項を記入の上、サポートへ問い合わせる。
623	USBキーが見つかりませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> Windowsのグループポリシー設定で、「CD / DVD」及び「リムーバブルディスク」の書き込みが禁止されている。 セキュリティソフト等でUSBキーへのアクセスを制限している。 	<ul style="list-style-type: none"> Windowsのポリシー設定で「CD / DVD」「リムーバブルディスク」の書き込み禁止を解除する。 セキュリティソフト等によるアクセス制限を解除する。 切り分けのため、別の端末で利用できるか確認する。 別の端末で利用できる場合は、端末固有の問題である可能性が考えられる。
		仮想環境上でビューアプログラムを使用している。仮想環境ソフトによっては、物理端末のWindowsと同等のUSB接続をサポートできていない。(例: Mac OS XのVmware Fusion)	<ul style="list-style-type: none"> 物理端末で実行する。 別の仮想環境ソフトで動作するか確認する。 仮想環境ソフトをアップデートする。
		デバイスマネージャーでマジックコネクット関連ハードウェアの認識に失敗している、あるいは無効状態にしている。	<ul style="list-style-type: none"> デバイスマネージャーで、「DVD/CD-ROMドライブ」項目と「ディスクドライブ」項目にあるマジックコネクット関連のデバイスが正常に認識されていることを確認する。 切り分けのため、別の端末で利用できるか確認する。 別の端末で利用できる場合は、端末固有の問題である可能性が考えられる。
		OSのアップグレードを行った。	メーカーサイトからアップグレードしたOS用のチップセットドライバやUSBドライバをダウンロードし、アップデートする。
		ユーザがUSBキーの検出をキャンセルする。	USBキーの検出画面で「キャンセル」をしない。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
<p>633</p>	<p>USBキーの取得に失敗しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Windowsのポリシー設定で、「リムーバブルディスク」の書き込みが禁止されている。 セキュリティソフト等でUSBキーへのアクセスを制限している。 	<ul style="list-style-type: none"> Windowsのポリシー設定で「リムーバブルディスク」の書き込み禁止を解除する。 セキュリティソフト等によるアクセス制限を解除する。 切り分けのため、別の端末で利用できるか確認する。 別の端末で利用できる場合は、端末固有の問題である可能性が考えられる。
		<p>マジックコネクットのUSBキーと他のUSBデバイスとで競合が発生している。</p>	<p>マジックコネクットのUSBキー以外のUSBデバイスを取り外す。</p>
		<p>ドックコネクタやUSBハブなどを経由してマジックコネクットUSBキーを使用している。</p>	<p>端末のUSBポートに直接接続して使用する。</p>
		<p>ディスクドライブをまるごと暗号化するソフトによって、マジックコネクットUSBキーの動作が阻害されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 可能であれば、ディスクドライブを暗号化するソフトをアンインストールする。 別の端末を利用する。
		<p>バックアップソフト(Acronis Backup等)や、CDライティングソフトによって、USBキーの動作を阻害している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用しないようであれば、該当ソフトをアンインストールする。 該当ソフトのアップデートパッケージがある場合はアップデートする。
		<p>デバイスマネージャーでマジックコネクット関連ハードウェアの認識に失敗している、あるいは無効状態にしている。</p>	<p>デバイスマネージャーで下記のデバイスが正常に認識していることを確認する。 「DVD/CD-ROMドライブ」 「ディスクドライブ」</p>
		<p>マジックコネクットのUSBキーに割り当てられているドライブレターが重複して使用されている。</p>	<p>「コンピューターの管理」→「ディスクの管理」から、マジックコネクットのデバイスに割り当てられた重複しているドライブレターを変更する。</p>
		<p>USBキー内のファイル、もしくはUSBキーが壊れている。</p>	<p>以下ページを参照し、該当製品のUSBキーをアップデートする。 お客様サポート(https://www.magicconnect.net/support/) → 「アップデート」 アップデートが失敗する場合は、USBキーが故障している可能性が考えられる。 Webページ(https://www.magicconnect.net/)の「お問い合わせはこちら」→「技術的なお問い合わせ」から必要事項を記入の上、サポートへ問い合わせる。</p>
<p>653</p>	<p>USBキー上で実行して下さい。</p>	<p>ビューアプログラム一式をUSBキー以外の場所にコピーして実行した。</p>	<p>USBキー内のビューアプログラムを実行する。</p>

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
723	直前の接続処理が完了していません。 接続処理をキャンセルして、新規の接続に切り替えますか？	直前に実行した連携アプリケーションの接続が確立する前に、さらに連携アプリケーションが開始された。連携アプリケーションの接続処理が速やかに進行しない状況であり、通常は 続いて 223 あるいは 233 のエラーが表示される。	先に実行した連携アプリケーションの接続が確立するまで待つてから再度接続ボタンを押す。 223 あるいは 233 のエラーも表示される場合、根本原因についてはそれぞれの項目を参照。
743	MagicConnect Client側で 対象機器側ポート番号[※1 対象機器側PCの待ち受けポート] の接続待ち受けがありませんでした。 選択した接続方法のサーバアプリケーションが MagicConnect Client 側で動作しているか確認してください。	[連携方法にリモートデスクトップを選択していた場合] 対象機器側PC(操作をされる側PC)でリモートデスクトップの接続を許可していない。	リモートデスクトップの接続を許可する。
		[連携方法にリモートデスクトップを選択していた場合] 対象機器側PC(操作をされる側PC)のセキュリティソフトでリモートデスクトップサーバの待ち受けをブロックしている。	セキュリティソフトによるリモートデスクトップサーバの待ち受けブロックを解除する。
		[連携方法にリモートデスクトップを選択していた場合] 対象機器側PC(操作をされる側PC)が、リモートデスクトップサーバ機能を利用できないエディションのOSである。	対象機器側PC(操作をされる側PC)として、リモートデスクトップサーバ機能を利用できるエディションのOSを用意する。
		[連携方法にWOLを選択していた場合] ・対象機器側PC(操作をされる側PC)がWOLサーバマシン(MC3000)ではない。 ・MC3000でWOLサーバが動作していない。	・WOLサーバマシン(MC3000)を利用する。 ・MC3000を再起動する。
EXエディションの場合は、ユーザが独自に設定した連携アプリケーション設定に誤りがある。あるいはユーザが独自に設定したアプリケーションのサーバ機能が対象機器側PC(操作をされる側PC)で動作していない。	エラーが発生している連携アプリケーションの設定を見直す。対象機器側PC(操作をされる側PC)で動作するアプリケーションサーバの状態を確認する。		
843	ポートは 0 ～ 65535 の範囲で入力して下さい。	サーバのポート番号で 0 ～ 65535 以外の数字を入力している。	正しい範囲のサーバポート番号を設定する。
		Proxyのポート番号で 0 ～ 65535 以外の数字を入力している。	正しい範囲のProxyポート番号を設定する。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
863	対象機器の起動が確認できませんでした。 リモートデスクトップ接続を中止します。	<p>WOL連携機能を利用したが、対象機器側PC(操作をされる側PC)が起動しなかった。</p> <p>WOL連携機能を利用したが、対象機器側PC(操作をされる側PC)のMCクライアントが制限時間内に接続を完了させることが出来なかった。</p>	<p>・対象機器側PC(操作をされる側PC)がMC3000のWOLパケットに反応していない。対象機器側PC(操作をされる側PC)のWOLに関する設定を見直す。</p> <p>・MC3000から正しい内容のマジックパケットが正しく送信され、対象機器側PC(操作をされる側PC)に届いていることを確認する。(Magic packet Finderを利用する。)</p> <p>対象機器側PC(操作をされる側PC)の起動に時間がかかっている可能性がある。 しばらく待って、起動した対象機器側PC(操作をされる側PC)に対して、改めてWOL連携機能を使わずに、リモートデスクトップ接続をする。</p>
873	対象機器が切断されました。 リモートデスクトップ接続を中止します。	<p>・対象機器側PC(操作をされる側PC)のMCクライアントが起動した後、リモートデスクトップ接続が実行される前にMCクライアントを切断する。</p> <p>・対象機器側PC(操作をされる側PC)のネットワーク環境が不安定。</p>	<p>・しばらく待ってから再度リモートデスクトップ接続を実行する。</p> <p>・対象機器側PC(操作をされる側PC)のネットワーク環境が不安定な場合は、接続環境を見直す。</p>
1083	<p>内部エラーが発生しました。リモートデスクトップセッションが終了しました。切断理由コードは ※1 です。</p> <p>対象機器と操作PCの空きメモリやネットワーク状態を確認してください。</p> <p>※1: 切断理由コード</p>	マジックコネクでリモートデスクトップを利用する設定ができていない。	<p>クライアントプログラムを以下手順に従い、上書きアップデートする。</p> <p>・USB型、端末認証型、指紋認証型、DLOの場合 お客様サポート(https://www.magicconnect.net/support/) → 「アップデート」 → 「USB型 / 端末認証型 / 指紋認証型 / DLO用のクライアントプログラムアップデート手順」</p> <p>・モバイルの場合 お客様サポート(https://www.magicconnect.net/support/) → 「アップデート」 → 「モバイル用のクライアントプログラムアップデート手順」</p>
1123	<p>受信に失敗しました。</p> <p>理由：[※1 失敗した理由のメッセージ]</p>	エラーの発生した端末で使用しているネットワークが不安定であるか、またはネットワークの通信経路上にあるネットワーク機器に切断された。	<p>繰り返し発生するのでなければネットワーク経路上での突発的な切断の可能性が高いため、対処は不要。</p> <p>[繰り返し発生する場合] エラーの発生している端末を再起動する。 可能であるならば、エラーの発生している端末のネットワークを変更する。</p>

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
1183	サーバに接続できませんでした。	マジックコネク트에設定しているサーバ名、ポート番号が間違っている。	正しいマジックコネク트의サーバ名、ポート番号を設定する。
	理由：[※1 失敗した理由のメッセージ]	マジックコネク트에設定しているProxy情報が誤っている、あるいは利用しているネットワーク環境では設定したProxyが利用できない。	<ul style="list-style-type: none"> マジックコネク트에設定しているProxy情報が正しいことを確認する。 Proxyを利用しない環境の場合、マジックコネク트의設定で「HTTP Proxy - 利用する」をOFFにする。
1193	送信に失敗しました。	エラーの発生した端末で使用しているネットワークが不安定であるか、またはネットワークの通信経路上にあるネットワーク機器に切断された。	繰り返し発生するのでなければネットワーク経路上での突発的な切断の可能性が高いため、対処は不要。
	理由：[※1 失敗した理由のメッセージ]		[繰り返し発生する場合] エラーの発生している端末を再起動する。 可能であるならば、エラーの発生している端末のネットワークを変更する。
1263	接続処理がタイムアウトしました。	エラーの発生した端末で使用しているネットワークが不安定である可能性。	繰り返し発生するのでなければネットワーク経路上での突発的な切断の可能性が高いため、対処は不要。
			[繰り返し発生する場合] エラーの発生している端末を再起動する。 可能であるならば、エラーの発生している端末のネットワークを変更する。
1303	予期しない通信を検出しました。 許可されていない連携アプリケーションが使われているか、 連携アプリケーションが改ざんされている可能性があります。 正しいファイルがインストールされているか確認してください。 アプリケーションを終了します。	連携アプリケーションの通信から不正なデータが検出された。	通常は発生しない。 発生した場合、Webページ(https://www.magicconnect.net/)の「お問い合わせはこちら」→「技術的なお問い合わせ」から必要事項を記入の上、サポートへ問い合わせる。
1313	予期しないリダイレクト通信を検出しました。 以下のリダイレクトは許可されていません。 [※1：リダイレクト通信の種類] 設定ファイルが不正に書き換えられている可能性があります。 設定ファイルが正しいものであるか、確認してください。 アプリケーションを終了します。	連携アプリケーションの通信から不正なデータが検出された。	通常は発生しない。 発生した場合、Webページ(https://www.magicconnect.net/)の「お問い合わせはこちら」→「技術的なお問い合わせ」から必要事項を記入の上、サポートへ問い合わせる。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
1413	サーバ[[※1マジックコネクットのサーバ] : [※2マジックコネクットサーバのポート番号]] に接続できませんでした。	ファイアウォールなどでマジックコネクットサーバの443ポートへのアクセスがブロックされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザを起動し、インターネットが利用できることを確認する。 ・マジックコネクットのWebサイトから管理画面にアクセスして、ユーザ認証画面が表示されることを確認する。
	設定ウィンドウの HTTP Proxy 及び、サーバの接続先が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。	設定したマジックコネクットのサーバ名、ポート番号が間違っている。	正しいマジックコネクットのサーバ名、ポート番号を設定する。
		マジックコネクットで利用しているProxy情報が誤っている、あるいは利用中のネットワーク環境では設定したProxyが利用できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・マジックコネクットに設定しているProxy情報が正しいことを確認する。 ・Proxyを利用しない環境の場合、マジックコネクットの設定「HTTP Proxy - 利用する」をOFFにする。
1423	HTTP Proxy[[※1 Proxyのサーバ] : [※2 Proxyのポート番号]] に接続できませんでした。	設定したProxy情報が間違っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいProxy情報（Proxyホスト名、ポート番号）を設定する。 ・Proxyを利用しない環境の場合、マジックコネクットの設定「HTTP Proxy - 利用する」をOFFにする。
	設定ウィンドウから HTTP Proxy の設定が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。	設定したProxyサーバが動いていない。	利用中のネットワークからProxyにアクセスできることを確認する。
1433	接続がタイムアウトしました。	ファイアウォールなどでマジックコネクットサーバの443ポートへのアクセスがブロックされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザを起動し、インターネットが利用できることを確認する。 ・マジックコネクットのWebサイトから管理画面にアクセスして、ユーザ認証画面が表示されることを確認する。
	設定ウィンドウの HTTP Proxy 及び、サーバの接続先が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。	設定したマジックコネクットのサーバ名、ポート番号が間違っている。	正しいマジックコネクットのサーバ名、ポート番号を設定する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・設定したProxyのサーバ名、ポート番号が間違っている ・利用中のネットワーク環境では設定したProxyが利用できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいProxyのサーバ名、ポート番号を設定する。 ・Proxyを利用しない環境の場合、マジックコネクットの設定「HTTP Proxy - 利用する」をOFFにする。
1443	サーバ[[※1マジックコネクットのサーバ]] が見つかりませんでした。	インターネットに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザを起動し、インターネットが利用できることを確認する。 ・マジックコネクットのWebサイトから管理画面にアクセスして、ユーザ認証画面が表示されることを確認する。
	サーバのホスト名が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。	設定したマジックコネクットのサーバ名が間違っている。	正しいマジックコネクットのサーバ名を設定する。
		Proxyを経由する必要があるネットワーク環境にも関わらず、Proxyを利用する設定となっていない。	Proxyを経由する必要がある場合は、Proxy情報を設定する。
1453	HTTP Proxy[[※1 Proxyのサーバ]] が見つかりませんでした。	インターネットに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザを起動し、インターネットが利用できることを確認する。 ・マジックコネクットのWebサイトから管理画面にアクセスして、ユーザ認証画面が表示されることを確認する。
	設定ウィンドウの HTTP Proxy のホスト名が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。	設定したProxyのサーバ名が間違っている。	正しいProxyのサーバ名を設定する。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
1463	<p>HTTP Proxy[[※1 Proxyのサーバ] : [※2 Proxyのポート番号]] の認証を通過できませんでした。</p> <p>設定ウィンドウから HTTP Proxy の認証に必要な、ユーザ名とパスワードを入力してから、接続しなおしてください。</p>	<p>Proxyサーバでユーザ認証に失敗した。</p>	<p>正しいProxyユーザ名、パスワード、ドメインを設定する。</p>
1473	<p>HTTP Proxy[[※1 Proxyのサーバ] : [※2 Proxyのポート番号]] からエラー[status code : [※3 エラー理由]] が返って来ました。</p> <p>設定ウィンドウの HTTP Proxy 及び、サーバの接続先が正しく入力されている事を確認してから、接続しなおしてください。</p>	<p>設定したProxyホストから「status code ※3」に記載されたエラー理由で、サーバに接続できない。</p> <p>設定したProxyホストがSSLによる接続を許可していない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正しいマジックコネクットのサーバ名、ポート番号を設定する。 正しいProxy情報（Proxyホスト名、ポート番号）を設定する。 <p>エラーの表示された端末からのProxy利用、あるいはSSLによる接続を拒否していないか、ネットワーク管理者に確認する。</p>
1503	<p>利用PCを限定するためのPC情報を取得できませんでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 手元端末が仮想環境である。 バージョンの古いビューアプログラムを利用した。 <p>手元端末にUSB接続タイプのデータ通信端末を接続し、利用している。</p> <p>システム情報を取得するWindowsの仕組み(WMI)が正常な状態でない。</p>	<p>以下の手順に従い、ビューアプログラムをアップデートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 端末認証型の場合 お客様サポート(https://www.magicconnect.net/support/) → 「アップデート」 → 「端末認証型のビューアプログラムアップデート手順」 モバイル(Windows)の場合 お客様サポート(https://www.magicconnect.net/support/) → 「アップデート」 → 「モバイル(Windows)のビューアプログラムアップデート手順」 <p>利用の有無にかかわらず、端末の有線LAN/無線LANデバイスを「有効」な状態にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 端末を何度か再起動する。 別の端末を利用する。 端末のバックアップからOSの復元を行う。
1513	<p>サーバに拒否され、利用端末を限定するための情報を登録できませんでした。</p> <p>利用端末を限定するための情報が既に登録されている可能性があります。</p>	<p>マジックコネクットのユーザ名末尾に半角スペースが入力されている。(モバイルあるいは端末認証型で、サーバへ端末認証情報を登録する時に発生。)</p>	<p>正しいマジックコネクットのユーザ名を設定する。</p>

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
75	WOLサーバに接続できません。	・ MC3000のWOLサーバ機能に問題が発生している。	・ MC3000を再起動する。
		・ MC3000で使用しているUSBメモリが故障している。	・ 現在のUSBメモリ内のデータのバックアップをとり、新しいUSBメモリに入れ替えて使用する。
		ネットワーク環境が不安定である。	ネットワーク環境を見なおす。
85	WOLサーバとの通信がタイムアウトしました。	MC3000のWOLサーバ機能に問題が発生している。	MC3000を再起動する。
		ネットワーク環境が不安定。	ネットワーク環境を見なおす。
125	WOLサーバとの接続が中断されました。	WOLクライアントがWOLサーバに接続してから、ユーザが一定時間操作をしなかった。	・ 接続してから、起動対象のPCを選択してパスワード入力を手早く行う。 ・ WOLクライアントの「対象機器一覧」画面が、「リモートデスクトップ連携中」画面の背後に隠れている場合があるので、「リモートデスクトップ連携中」画面をずらして、背後にあるWOLクライアントの「対象機器一覧」画面を表示させる。
		ネットワーク環境が不安定。	ネットワーク環境を見なおす。
195	指定されたPCが存在しません。	WOLクライアントの「送信先」欄に、WOLサーバに登録されていないPC名を入力した。	正しいPC名を入力する、またはWOLクライアントの「参照」からPCを選択する。
205	パスワードの入力に誤りがあります。	WOLクライアントに入力した、パスワードが間違っている。	正しいパスワードを入力する。
265	PCが選択されていません。	WOLクライアントの「送信先PCの選択」画面で、PCを選択せずに「選択」を押している。	PCを選択してOKボタンを押す。
455	WOLサーバはマジックパケットの送信に失敗しました。	WOLサーバに登録された「対象PC」の「ブロードキャストアドレス」に不正な値が登録されている。	WOLサーバに登録された「対象PC」の「ブロードキャストアドレス」に正しい値を登録する。
		WOLサーバの通信機能に問題が発生している。	MC3000を再起動する。
465	WOLサーバとの通信にエラーが発生しました。	ネットワーク環境が不安定。	ネットワーク環境を見なおす。

お問い合わせコード	メッセージ	主な原因	対処方法
475	確認用のパスワードが一致しません。新しいパスワードを二つのテキストボックスに入力してください。	WOLクライアントのパスワード変更画面に入力した、「新しいパスワード」と確認入力用の「新しいパスワード」が一致しない。	「新しいパスワード」と確認入力用の「新しいパスワード」に同じ内容を入力する。
495	WOLサーバがビジー状態です。時間をおいてご利用ください。	WOLサーバに現在接続中のユーザがいる。	しばらく時間をおいてから再度WOLサーバに対して接続をする。 改善しない場合は、MC3000を再起動する。
515	マジックパケットを送信できませんでした。	マジックパケットの送信に何らかの理由で失敗した。 他のWOLクライアントのエラーに続いて出ることが多い。	他のエラーと一緒に出ていないか確認する。 直接の原因は別のWOLクライアントエラーが発生している可能性がある。
525	パスワードを変更できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・ WOLサーバプログラムの設定ファイルがおかしい。 ・ MC3000で使用しているUSBメモリが故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ MC3000を再起動する。 ・ 現在のUSBメモリ内のデータのバックアップをとり、新しいUSBメモリに入れ替えて使用する。

お問い合わせコードと対処方法

更新履歴	更新内容
2013/8/30	初版作成
2013/11/19	以下の内容を修正しました。 お問い合わせコード283 (端末認証タイプで発生する認証エラー)の記載内容と お問い合わせコード293 (USBキータイプのビューアで発生する認証エラー)の記載内容が 入れ替わっていたのを、それぞれ正しい記載内容に修正しました。
2014/3/17	モバイル版マジックコネクで利用可能なパスワード保存に関するお問い合わせコードを新規で追加しました。
2014/7/8	サポート終了に伴い、Windows XPに関する記述を削除しました。
2014/7/15	383コードに関する記述で、Windows8/8.1で問題が発生した場合の対処方法を追加しました。
2014/9/10	283、291、293エラーが発生した場合の、認証エラーの確認方法を記載しました。 ファイルをエラーの発生したタイプ別に色分けしました。
2015/1/5	1513エラーを新規で追加しました。 最新版メッセージの用語に揃えました。(「操作PC」→「操作端末」、「利用PC制限」→「端末認証」)
2015/4/1	モバイル(Windows)のリリースに伴い、文章を修正しました。 1733 エラーを一覧から削除しました。
2015/8/12	目次を追加して、目的のお問合せコードを探しやすくしました。
2015/8/19	863、873のコードを再度追加しました。
2015/9/2	383エラーにWindows 10の影響を反映しました。
2016/1/25	3,173,183,193,203,223,603の対処方法の文章を変更しました。 293,383の主な原因と対処方法を追加しました。 433の主な理由の文章を一部変更しました。 623の対処方法の文章を追加しました。
2016/6/30	1083の文章を追加しました。 お問い合わせ先のリンクを修正しました。
2018/5/17	223エラーの主な原因と対処方法を追加しました。 383エラーの主な原因と対処方法を追加しました。 431エラーの主な原因と対処方法を追加しました。 433エラーの主な原因と対処方法を追加しました。 623エラーの主な原因と対処方法を追加しました。 633エラーの主な原因と対処方法を追加しました。 1083エラーの対処方法を変更しました。 1503エラーを追加しました。 その他軽微な文章や文言の修正、用語の統一をしました。
2018/8/7	173、193エラーの文章を追加しました。